

もっといい明日が見えてくる - Letters from Gnoble

# Gnoble

グノレット

# G-let

vol.28 Digest版特別号

# vol. 28.5

2024年1月発行

東大・医学部  
合格特集号

特別掲載  
卒業生の保護者座談会



● vol.28 フルバージョンは、Webにて公開中。  
こちらからお読みいただけます。

 **Gnoble** GROUP

# Gno's Highlight

グローバルを活かして輝いた、17期生たちの声

知らない単語でも文脈や語源から推測して大体雰囲気が分かるようになって、大きな流れはつかめて内容が分かるので楽しくなっていました。

母家 敬之さん (文I・渋谷教育学園幕張)

東京大学 文系 Part 1 4 ページより

グノは宿題の量がほどほどで、学校生活や学校行事を圧迫するほどではなく、しっかり両立できました。振替も授業の直前までHPで簡単にできたり、コロナ禍になってからは映像授業を見ることもできたので、学校の予定が急に入っても必ず授業を受けられました。

石村 瑠菜さん (文III・吉祥女子)

東京大学 文系 Part 2 5 ページより

グノで学んだことは役立つものしかありません。特に、語源や語根から意味を推測することを学べたことと、語順のまま解釈するのが習慣化できたことです。これから他の言語を第二外国語として学ぶ時にも生きてくると思います。

橋爪 佑季さん (文II・駒場東邦)

東京大学 文系 Part 3 6 ページより

グノの数学は「どうやってその考え方にたどり着くか？」に時間をかけてくださいました。「どうやったらその発想になるか？」をいろいろな角度から書いてくださって、「どうして自分がそれを思いつけなかったのか？」を知ることができるので、次に活かしやすかったです。

飯島 悠季奈さん (理II・渋谷教育学園渋谷)

東京大学 理系 Part 1 7 ページより

高3の英語の授業では英作文と読解があって、それぞれの授業で先生からその日のうちにフィードバックをもらえるのが自信にもやる気にもつながりました。

岡本 陽資さん (東京医科歯科大医・駒場東邦)

東京大学 理系 Part 2 8 ページより

グノは英語力を底上げしてくれる塾です。大学受験をゴールとした英語ではなく、英語力をボトムアップすることによっていろいろな英語に対応できるようにしてくれます。

小花 栄貴さん (理I・開成)

東京大学 理系 Part 3 9 ページより

数学のセルフチェックシートは最初「めんどくさい」と思っていたけれど、続けていくと効果が表れてきます。言語化することで、穴埋めではない記述解答の国公立にも対応できます。

伊藤 ゆめかさん (大阪大・豊島岡女子学園)

国・私立大学 医学部 Part 1 10 ページより

グノの物理は公式から入るのではなく現象から入るのが他との違いです。公式は現象を理解するためにあることが理解できて、公式に対するモヤモヤした印象が解消できました。

中山 渡さん (筑波大医・麻布)

国・私立大学 医学部 Part 2 11 ページより

先生方との距離感がとても近くて、本当に個人個人の意思やスタイルを尊重して、時には的確なアドバイスをしてくださって、そういう距離感や空気感がとても居心地が良くて、学んでいて楽しかったです。

赤嶺 佑奈さん (東京女子医科大医・浦和明の星女子)

中学受験グローバルOB・OG 座談会 12 ページより



# Gno-let

vol. 28.5

# 保護者 座談会 2023

2023年度の保護者座談会は、Gno-let vol.28『東大合格特集号（医学部合格者インタビュー併載）』にご登場いただいたグノーブル17期生、石村 瑠菜さん（東大文Ⅲ・吉祥女子）のお父さま、一松 大輝さん（京大農・麻布）のお母さま、因間 円香さん（東大文Ⅱ・桜蔭）のお母さまにお集まりいただきました。

コロナ禍とともにあった学校生活を乗り越え、'23年高校を卒業した17期生の皆さん。徐々に戻りつつある日常と感染防止対策とのはざまで悩まれることも多かったことと思います。そうした中でも信念を貫き、大学受験と向き合った子どもたちと保護者の皆さまはどのように接してこられたのか。また、そのお手伝いをしてきたグノーブルをどのように見ていらしたのか。お話を伺いました。

（取材・文 吉村高廣）



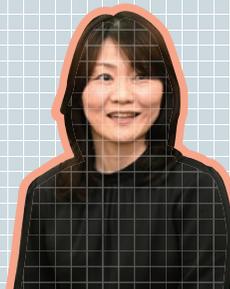
いしむら ふじお  
石村 藤夫さま

東大文Ⅲ・1年（吉祥女子）  
石村 瑠菜さんのお父さま



ひとつまつ あきこ  
一松 亜希子さま

京大農・1年（麻布）  
一松 大輝さんのお母さま



いんま みえ  
因間 美恵さま

東大文Ⅱ・1年（桜蔭）  
因間 円香さんのお母さま

## グノーブルなら、大学に進学したあとも続いていく学びの土台をつくる

### 親から子どもへの関わり方

**石村：**“家族は娘の応援団”という関わり方で、その他のことは学校やグノーブルにお任せしていました。娘の性格上、最初からギアを入れて先行逃げ切りがいいだろうなという思いが私にはあったんです。だからこそ、英語は中2から、国語も高1から大学受験グノーブルに通わせていただきました。結果として英語だけでなく、国語も武器になりました。苦手だった数学も引っ張り上げていただいたので、学校でも一目おかれるようになっていたようです。そうしたことって自信になりますよね。そして、それを維持しようとする。そういう好循環をつくってあげるためにはどうしたらいいかは常に考えていましたね。

**一松：**周りに比べて、息子は塾に通い始めたのが遅く、大学受験のためにグノーブルに入ったのは高1の冬期講習からだったんです。基本的には、本人が「行きたい」とか「やりたい」と言うまで待つ。中学受験の時からずっとそうしてきたので無理強いはしませんでした。私も息子も、グノーブルにはアットホームで良いイメージしかありませんでしたし、本人の気持ちを尊重したのが良かったのか、通い出したら成績がみるみる伸びました。

**因間：**うちの娘は意志はしっかりしているのですが、なかなかそれを表に出しません。ですから、「何かあれ

ば言ってくるだろう」と思って、待つ姿勢を貫くようにしていました。やはりグノーブルに通っていた長女は「私は自分の信じたやり方を貫く」というタイプでしたが、次女は周りとは違うことに動揺するタイプで心配でした。でも、グノーブルで授業を受けて帰ってくる時はいつも楽しげでしたから、勉強のことで私のほうから何かを言ったり聞いたりすることは一切しませんでしたね。

### 塾選びの決め手になったもの

**因間：**6年前に長女がグノーブルにお世話になっており、その流れで下の娘も通うことになった次第です。長女はグノーブルが大好きで、「すごくいい塾」と常々言っていました。次女がお世話になり始めたのは中3からですが、グノーブルで英語を学ぶことがどれだけ素晴らしい経験かを、長女が常に話していたことが次女の背中を押したのは間違いのないと思います。

また、私が安心できたのはグノーブルの先生方についてです。他人からの影響を受けやすい次女は、先生の人間性がそのまま成績に直結するだろうと感じておりましたので、“どんな先生がどのような接し方をしてくださるのか”は、次女の塾選びにおいて最重要項目になります。そうした意味でも、グノーブルの先生にお任せすることが、彼女の成績ややりがいにもつながっていくだろうと感

じておりましたし、他に選択肢はありませんでした。

**一松：**うちは小5の中学受験グノーブルの頃からお世話になっています。第一条件はピアノのレッスン日と被らないこと。また、息子は大人数の場所や人混みが苦手でしたので少人数制であること。実際に通い始めたら息子も「楽しすぎる！」ということで、全然苦にならなかったようです。

実は、小学校にはあまりなじめていなかったのですが、グノーブルに通い始めたら欲求が満たされたんでしょうね。学校生活もそれなりにこなせるようになっていったんです。大学受験グノーブルへは、高1の冬期講習から英語に通い始めました。わが家は、息子が中3の時に主人の赴任先（海外）に家族で引っ越したのですが、インターナショナルスクールに全くなじめないうちにコロナ禍で強制帰国になり、中途半端な状態で終わってしまい、英語に対する苦手意識がすごく強かったんですね。ところがグノーブルに行き出したら、学校の成績がすごく良くなって、模試でも英語だけはいつも安定していい成績が取れるようになりました。「英語だけは大丈夫」と思えることが本人にとって自信や強みにつながっていたようでした。

**石村：**私は転勤の連続で、東京に戻ってきたのは娘が小学4年生の時でした。その頃から“中学受験”を視野に入れていたわけですが、同じタイ

## 指導をしていただけるだろう。それがグノーブルに期待したことです。

ミングで、中学受験グノーブル吉祥寺校が開校したんです。開校したばかりで生徒数も少ないし、「優秀な先生が揃っていらっしゃる」という情報を妻がママ友から仕入れてきて、中学受験グノーブルにお世話になることにしました。娘はグノーブルに通うことを楽しみにして、そして勉強がどんどん好きになっていきました。進んだ中学（吉祥女子）が自宅から近かったこともあって私も妻も大満足でした。

大学受験グノーブルは中2の春期講習からです。娘は小4で英検3級を取っていましたが、最近の中学の英語は授業の進みが早く、中1の終わり頃には、もう追いつかれている感じがしたんです。点数も悪くありませんでしたが、文法があやふやで、リスニングもいまひとつという状態でした。それで英語を徹底的に鍛えて受験の武器にしよう、と改めてグノーブルの門を叩いた次第です。本人も中学受験グノーブルで体感したグノーブルの文化のようなものが好きだったこともありましたが、他の塾のお話を伺ってみましたけど、娘にとってはやはりグノーブルが最善の塾だと再認識しました。

### 子どもの様子から垣間見えたグノーブルの魅力

**石村：**私は娘に“これなら自信がある”という得意科目を持ってほしいと思っていました。人って、ひとつ武器を持つと強いじゃないですか。

そしてその相乗効果で、どんどん成長していくことがあります。こと大学受験に関しては、そのきっかけが英語であればより良い結果が導き出されるだろうとも考えていました。グノーブルはその期待に、見事に応えてくださいました。英語だけでなく、国語も武器になりました。苦手だった数学もどうにか引っ張り上げていただきました。グノーブルだからそうなりましたけれど、「この塾なら間違いない」と思って託したものの、逆に勉強が嫌いになって成績も上がらず、期待外れになることもあるはずでした。受験生と親の気持ちを裏切らない。それがグノーブルの魅力だと私は思っています。

**一松：**日頃から息子には、「何かあれば学校の先生やグノーブルの先生に聞きなさい」と伝えていました。そのほうが息子も聞き入れやすいと思ったんです。実際に息子はそのとおりにしておりまして、学校の友人などともよく情報交換をしていたようです。そうした中で、息子も一応単語帳を買いました。ところが、グノーブルは「単語帳はやらなくていい」という独自の方針を貫いていますので、結局のところは、単語帳を買ったもののほとんど手をつけることなく、先生がおっしゃるとおりに音読中心の学習を続けて力を伸ばし、受験をクリアしました。

昔から当たり前とされてきた学習法（単語帳）ではなく、独自性を貫き結果を出すのは並大抵のことではない

と思います。英単語を日本語に対応させて暗記するのではなく、英単語の概念そのものを語源から伸ばす新たな学習法を証明してきたグノーブルは、まさに大学受験指導のイノベーターだと思っています。

**因間：**豊かな知識と教養にあふれた先生方との“距離が近かった”ことが一番の魅力だったと思います。先生によって、成績が顕著に左右される子でしたが、信頼できる先生にはどこまでもついていくタイプで、グノーブルの先生方がまさしくそうでした。

娘は数学にやや苦手意識があり、実は最初にお世話になったのは数学なんです。季節講習で英語を受けた時に、「英語も通いたい」と本人が申しまして、中3の秋から英語でもお世話になりました。その理由のひとつが先生との距離が近かったことです。先生方はその距離感を、最後の最後まで保ってくださいました。共通テストのあとは家で勉強するだけの生活になるので、何か不安を感じたり、ちょっとした疑問が芽生えたりした時は、すぐに先生に添削依頼のメールを送っていました。それに対する先生のお返事やご指導が娘の心の支えになっていたことは間違いありません。遅い時間にご連絡してもすぐにお返事をくださいました。そんな先生に親として頭が下がる思いでした。先生方との距離が近かったこと、これがグノーブルの魅力でした。

# 東京大学 文系 Part.1



さとみ ゆうせい  
里見 悠哉さん  
(文I・駒場東邦)



さわ ゆき  
澤田 幸希さん  
(文II・吉祥女子)



まるやま はるき  
丸山 晴己さん  
(文III・駒場東邦)



もや たかゆき  
母家 敬之さん  
(文I・渋谷教育学園幕張)

## グノーブルに期待していたことは

**一松**：息子は大学受験そのものの仕組みを疑問視しており、塾に行くことにも抵抗感を持っていました。ですので、小学生の頃に「勉強って楽しい！」と思えるよう導いてくださったグノーブルでなら彼自身も何らかの意味を見出してくれるんじゃないかという期待がありました。息子にとっても予想以上に楽しかったようです。

実際に英語の伸びは著しかったらしく、ある私立大の英語の出題傾向が劇的に変わって、今年からマークシートではなく要約や英作文が課せられるようになり、その大学の過去問をベースに対策をしていた方々の間に衝撃が走ったそうです。ところが息子は、「普段、グノで読んでいる長文に比べれば、今日の長文は絵本みたいだった」と言っていました。それを聞いて私はグノのことを、改めて「すごい塾だ」と思いました。

**石村**：まずは中学受験グノーブルですが、とても良かったと思っています。御三家には落ちてしまいましたけれども、それは今に至る布石であって「勉強を好きになる」という、学校生活をより良く過ごすための土台のようなものを築いてくださったのは、わが子にとっては間違いなく中学受験グノーブルでした。成績もどんどん伸びて、上のクラスで勉強させていただいて…。本人は「グノーブルで良かった」と思っていたはずですが。

だからこそ、次のステップを目指すために大学受験グノーブルを選んだのは自然な成り行きだったと思います。親からすれば、ここからは「勉強が楽しい」だけではなく、中学受験のリベンジも含めて、塾に期待するのは「合格力」でしたので、「他にこんな塾もあるよ」と別の選択肢も提案しましたが、本人はグノーブルを選びました。結果的に大学受験グノーブルは、学力の向上という点に関しても期待以上でした。

**因問**：大学受験は決して楽なものではありませんが、そこに行き着くまでの学びが楽しいものであってくれ

れば、実りも多くなるのではないかと感じておりました。ですから、グノーブルから帰ってきて、家で楽しく話をしてくれている姿、そして何より、学校行事などで忙しくても休まないという姿を見ていると、グノーブルでの娘の日々は、私の期待以上に実りの多いものだったのだらうと感じておりました。

高2の時はコロナがやや落ち着き始めて、学校行事が徐々に戻りつつあり、娘は生徒会をやっておりましたので休む日がない状態が続いていました。私は「学校に通うことが一番で、塾に通うことはその次」と思っていたので、体力的にきついならば、「塾は休んでもいい」と思っていました。それでも「楽しいから行く！」と娘は言って休まませんでした。こんな大学に入ってほしい、だから塾に通ってほしい、というお仕着せの気持ちは一切なく、本人たちが学びたいものを学び、進みたい道を選べばいいと私は考えておりましたので、進路や塾に関しても、選択肢は与えても、こちらの要望を話すことは一度もありませんでした。肝心なのは、「受験で燃え尽きない」ことです。大学受験という大きなハードルを越えたら、「何もなかった」などということはありません。結局のところ、大学に進学したあともずっと学びは続いていきます。「グノーブルなら、そのための土台をつくっていただけるだろう、そういう指導をしていただけるだろう」。それがグノーブルに期待したことです。長女と次女、二人の娘をグノーブルに預け、期待以上のものを授けてくださったと感謝しております。

## お子さんが受験を迎える方にアドバイス

**石村**：繰り返しになるかもしれませんが、英語と国語は早くからグノーブルで学び、固めておくのは受験を攻略する上でいい戦略だと思います。それを得意科目として、自分の強みを持った状態で、残りの科目で勝負するというスタンスを築けると強いと思います。

英語も国語も積み重ねてモノになる

科目ですが、暗記の詰め込みのような勉強の仕方ですと、どこかで息切れして実力がつかないと思います。できるだけ早くからグノーブルで、正しく学びを続けていけば結果は自ずとついてくるのではないのでしょうか。

**一松**：心配はつきないですし、いろいろ言いたくなることもあると思いますが、そこはぐっとこらえて見守ることが大事だと私は思っています。18歳にもなれば、自分なりの考えや思いがあるものです。それを頭ごなしに否定したり、叱りつけて軌道修正しようとしてもうまくいくとは思えません。子どもの人格を尊重しつつ、「常にあなたの味方だよ」というスタンスで、ドンとしているのが親のあるべき姿ではないでしょうか。難しいけれど、そうあるべきだと思います。

**因問**：いろいろと目につくことはありますし、気がかりなことたくさんあるはずですが、子どもは子どもなりに考えているのではないのでしょうか。だからこそ、親が先走って口出しはせず、見守ることが大事なのだと思います。またそれが、子どもの意思を尊重してあげることになるのだらうとも思います。

もちろん、お子さんそれぞれで性格も違いますし、それが最善だとも思いません。ただ、うちの娘二人に限っては見守りに徹したことが、本人たちが希望する良い学びの場を得ることに結びついたと思っています。また、そこに至る伴走者であった先生方には心からお礼申し上げたいと思います。グノーブルで学ぶ機会を娘たちが得られたということは、彼女たちのこれからの人生を実りあるものとする、有意義な経験であったと思っています。ありがとうございます。

## グノーブルの英単語習得

**里見**：高1の初めの頃、本当に英語を全然やっていなくて、ゼロからのスタートでした。でも、英語と日本語の違いがグノではしっかり説明されたので、すぐに英語に慣れました。グノでは、英単語を日本語に対応させていくのではなくて、成り立ちから英語としてのニュアンスを教わってもらえます。返り読みも決してせずに、英語の語順通りに解釈していくやり方も教えてもらえます。

英語の構造がグノの授業を通して自然に頭に入ってきたので、読むスピードもすごく上がりました。英文の論理の展開にも慣れたので、「ここはこういうことが書いてあるんだろうな」と推測しながら読むことができるようになって、英語を読むのが楽になりました。グノのおかげで自分の力で読んでいけるようになったので、大学に入ってから出合う英文にもあまり不安はありません。

**母家**：僕は単語の暗記が苦手でした。でも、グノでは単語丸暗記ということはありません。先生が、文章で出てきた単語を語源から掘り下げてくださったので、苦なく覚えられました。そういう点で、そもそも英語の勉強が嫌でなくなったのが大きかったです。嫌でなくなったので、積極的に勉強できるようになって英語の力が身につきました。単語帳を使った勉強だと、結局、英語を日本語と対応させて覚えている

だけなので、覚えていない単語が次々出てくると文章が全然読めなくて「英語ってつまらないな」となってしまう。僕にはそういう時期がありました。でも、知らない単語でも文脈や語源から推測して大体雰囲気が分かるようになると、大きな流れはつかめて内容が分かるので楽しくなってきました。グノで勉強すればするほど、日本語を読んでいるみたいに英語を読むのに慣れて、とても読みやすくなっていくのが実感できました。

## グノーブルの音読

**澤田**：私は最初、英語を日本語に置き換えて日本語で理解しようとしていたんですけど、英語を英語のまま理解できるようになって、英語を使っている人たちの気持ちを想像できるようになりました。音読のおかげです。先生がいつもおっしゃっていた「迫真の演技で、自分がスピーチをしているかのように音読する」のをやっていたら、本当に効果がありました。

**丸山**：音読を始めてから英語の成績が伸びました。サミングアップ\*のプリントには音声教材もあるし、毎日読んでも負担にならない分量だし、英語を英語のまま読むのもそこで鍛えられたと思います。音読を続けていると、普通に日本語を使っている感覚に近くなります。英語なのに外国語をやっている感覚がなくなって

いったのは、高3で力がついてからでした。音読をやる前は、英語を前から読んでも単語を1個ずつバラバラに日本語に訳しながら解釈していましたが、英語のまま読めるようになったのは大きかったです。

## グノーブルの数学

**澤田**：中1から受けました。すごく良かったです。グノの数学は授業内に演習します。先生が回って途中式を見てくださって、「ここでつまづいているよ」みたいにアドバイスをくださいます。すぐに答えを言うのではなく、なるべく自分で解決できるように工夫された授業でした。小学生時代は算数が本当に苦手だったんですが、数学がすごく好きになりました。

**丸山**：僕は高1からです。生徒が演習している時、先生が近くに来て見てください。それが印象的でした。途中まで書いたものまでしっかり見てもらえるのもグノらしさでした。

**母家**：僕も中1からです。もともと算数が好きで数学も好きだったのですが、グノは特に楽しかったです。グノの数学は少人数で、ほぼ個別対応みたいな感じでした。途中でつまづくと解説まで暇な塾もありますが、グノではつまづいたらつまづいたで、どこでつまづいているのかをその場で教えてもらえるのが良かったです。数学が大好きになりました。

\* SUMMING-UP LABORATORY：高3の英語（読解）で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

# 東京大学 文系 Part.2



いしむら りな  
石村 瑠菜さん  
(文III・吉祥女子)



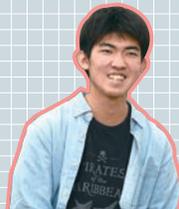
いん まもか  
因問 円香さん  
(文II・桜蔭)



さくまけい  
佐久間 啓さん  
(文II・早稲田)



さとう ゆうけい  
佐藤 由啓さん  
(文II・武蔵)



ほんだ ゆうさく  
本多 悠朔さん  
(文I・駒場東邦)

## 学校とグノーブルとの両立

**石村:** グノは宿題の量がほどほどで、学校生活や学校行事を圧迫するほどではなく、しっかり両立できました。振替も授業の直前までHPで簡単にできたり、コロナ禍になってからは映像授業を見ることもできたので、学校の予定が急に入っても必ず授業を受けられました。

**本多:** 僕は部活も学校行事もやりたい学校重視の人間でした。卓球部とクイズ研究会に入っていて、曜日が高重ななくて週5で部活がありました。グノには高2から入ったので、文化祭の実行委員も重なっていて、めちゃくちゃ忙しい時期でした。でも、宿題の量が少なくても効果が上がるのもあって、学校生活も両立しながら円滑に回せました。

うちの学校は体育祭に気合を入れて臨むので、高3の体育祭直前期は塾を休むのが当たり前です。そういう時期も、グノには映像授業があったので、休んでも映像で追いつけました。

**佐久間:** グノは振替も融通が利いて、忙しい高2でも学校と塾の両立は問題ありませんでした。僕はバレー部でしたが、部活に支障なく塾に通えました。定期テスト前もテスト勉強と両立できました。

## 英語の勉強方法で良かった点

**因問:** 私は何の関連もない状態で覚

えるというのが大っ嫌いで、単語帳も大っ嫌いでした。学校の同級生が単語帳を持っているので心配だから同じものを買ったけれども、そのまま一度も開かずに捨てました(笑)。グノでは最後まで単語帳が本当に必要なくて、単語帳をやらずに力がついたのでさすがありがたかったです。先生が「しっかり椅子に座って勉強しなくてもいいから、音読はちゃんとしましょうね」と何度もおっしゃっていました。高3だと、社会などの他の科目に時間を割いて英語がおろそかになりがちだけれど、英語に少しでも触れないと鈍ってくるので、そういう時に音読だけで力がつきました。だから、高3で音読に割く時間が増えました。週1で授業を必死に受けて、2日以内に復習して、それ以降は通学中の電車でGSL\*を聞いて、そのあとに3~4題のうち好きな2題を持ってきて電車で読むというのを毎日繰り返しました。家で机に向かって英語をやる時間はなかったけれども、そういう時間を作って英語の力をちゃんと伸ばせました。

**佐藤:** 基本的に音読は寝る前にやっていました。習った英文を全部音読するようにしていました。GSLはYouTubeで公開されていて、電車の中で使うのに便利でした。スク립トがついているので、最初リスニングだけで聞き取れない時にさっと取り出してみると、「この文が聞き取れなかったのか」と分かります。YouTubeだと速度を自由に換えられ

て、慣れてきたら1.5倍などにして聞くこともできます。リスニングの時は1.5倍、シャドーイングの時は1倍、オーバーラッピングは1.25倍などと自由に使い分けられます。

## グノーブルの先生

**石村:** 先生が顔と名前をすぐに一致させて、当てる時もすぐ呼んでくださるので、驚いたと同時にうれしかったです。先生からは授業に対する熱意が伝わってきて、「こちらも集中して演習しよう」と思いました。先生の熱意に応えたい授業でした。

**佐久間:** 個性的な先生が多かったです。先生方は、僕たちを生徒としてというよりも個人として見てくださいます。名前を覚えてくださいますし、「おまえら勉強しろ」という感じではなく、丁寧に大人として接してくださいます。受験は自主性がないとある程度のところに行けないので、グノの先生方のような態度が大事だと思いました。

**因問:** 確かにグノでは「あれやりなさい、これやりなさい」というのではなく、先生と生徒の距離がほぼ良い近さでした。先生方は生徒一人ひとりのことを性格から勉強の癖までよく分かってくださる印象で、どの先生も初回から顔と名前を一致させてくださるのがびっくりでした。授業中はよく当たりますし、演習の添削もあるので、こちらも気が引き締まって授業に臨めました。

# 東京大学 文系 Part.3



はしづめ ゆうき  
橋爪 佑季さん  
(文II・駒場東邦)



わきの もえか  
鷲野 萌花さん  
(文II・渋谷教育学園渋谷)

## グノーブルの英語

**橋爪:** 僕はもともとは英語に苦手意識を持っていました。他の塾に通っていた頃は、予習がすごい量で、それをなんとか頑張ってこなして授業に臨んでも、その授業がつまらないという最悪の状況でした。

でも、グノーブルに入ったら、授業の準備も少なくすむし、軽い気持ちで教室に入ることができました。さらに英文の内容も楽しく、授業もフレンドリーで、楽しく習い事に通っているという雰囲気でした。おかげで、段々と英語嫌いから脱して好きになっていました。

グノーブルで学んだことは役立つものしかありません。特に、語源や語根から意味を推測することを学べたこと、語順のまま解釈するのが習慣化できたことです。これから他の言語を第二外国語として学ぶ時にも生きてくると思います。

英語の授業で大きかったのは、先生と生徒の距離が近く、対面でもメールでも気軽に質問できたことです。授業中に当てられるのも良かったです。先生に当てられるかもしれないから、「ちゃんとした答案を作らないといけない」という気持ちが湧いてきます。自分の持てるすべてを、ベストを尽くして出せました。

高3の途中から、解釈が難しい箇所になると先生が、「この解釈を誰かしてくれますか?」と聞いてくるようになりました。自分から手を挙げ

ないと当ててもらえません。僕としては、当てられないとグノの授業に來た感じがなくて、気合を入れて手を挙げていました。ますます授業に主体的に参加できるようになりました。

それから、演習時間が決まっていて、プリントの右上に書かれています。それを目安に、本番のような緊張感を持って取り組みました。「最善の答案を作り上げよう」という本番の試験みたいな気持ちでした。

## グノーブルの国語

**鷲野:** 通年で取っていたわけではなく、高2で季節講習を取って、高3ではタームごとに古文や現代文を受講しました。国語は、手がかかるけれど、塾に行きづらい科目です。だから、必要な分野だけ選択的に取れるのは、他の科目にも時間をかけたい受験期には便利で魅力的でした。

何より高3の東大国語の先生が本当に良かったです。先生は難解な文章なのにとっても分かりやすい具体例を出してくださって、「何だ、こんなことか」となることがよくありました。たとえば、漢文で「法が厳しすぎると国民は抜け道を探すから、逆に厳しすぎると国民は抜け道を探さなくなる」という話が出て、先生が「厳しすぎる校則だと、みんな抜け道を探してやりたくなくなっちゃうよね」という具体例を出してくださいました。難しい題材も、私たちが身近に感じるところまで落と

し込んで説明してくださって、とても分かりやすかったです。

それから、過去問の添削は自分では難しいですが、先生に添削をお願いすることができました。

## 後輩へのアドバイス

**鷲野:** グノーブルは授業や教材がそろっているから、あとは自分が音読や授業の復習をきちんとやれば、自然と力が伸びていきます。最後まで自分とグノーブルを信じて頑張ってください。私は夏前にクラスが1個落ちたけれど、そういう時も諦めずにやっていたら、夏のテストでまたクラスが戻りました。クラスが落ちてもめげないでほしいと思います。これは東大の話ですが、東大は二次勝負です。私は共通テストで点数が取れず760点くらいでした。でも、メンタルが妙に安定していて、「もっと悪くなりそうなところをここで持ちこたえたんだから、良かったんじゃないか」と考えることができたので、二次もうまく乗り越えられました。メンタルを気丈に、ポジティブに保って、最後まで諦めないでください。

**橋爪:** 後輩たちには音読と復習を頑張してほしいです。教材はそろっているのでは自分がやるだけです。僕も共通テストが苦手でした。ポジティブに捉えられたのは、先生の添削で「粘り強く!」と書いてあったからです。東大は二次勝負! 本音が粘り強く諦めない心が大事です。

\* Gnoble Sound Laboratory: 中1から高3までの6学年すべてに毎週用意されているオリジナル英語音声教材。合理的練習法(ワークアウト)も確立されており、英語が得意なグノーブル生の土台を築いています。

# 東京大学 理系 Part.1



いじま ゆき な  
飯島 悠季奈さん  
(理II・渋谷教育学園渋谷)



おざわ みゆ  
小澤 美悠さん  
(理II・豊岡女子学園)



たばた りょう  
田畑 遼さん  
(理III・暁星)

## グノーブルの勉強方法

**田畑**：高3英語の読解の先生がしつこいくらい「音読」とおっしゃっていたし、その話には説得力もあったので僕も音読を始めました。そのおかげで、英文を前から読めるようになりました。英語の語順のまま前から読んでいって解釈して、段落ごとに内容をつかんでいく読み方が身につきました。音読していると戻れないので、それなりに時間はかかりましたが、音読していくうちに英語らしい読み方に慣れていきました。グノの指導法は、英語を日本語で処理するのではなく、英語のまま処理していく力を養う方法です。単語帳の暗記も、英単語を日本語に対応させた覚え方です。友達が単語帳を使っているのを見ても、「僕は単語帳を使わなくていいのかな？」という不安より、「やらなくていいんだ、ラッキー！」みたいな気持ちでうまく受験を乗り切れました。

## グノーブルの数学

**飯島**：学校だと、解説の時間は「どうやって解くか？」がメインになって、「これはこうやって、次はこうすれば答えが出るよ」という説明が多くなりがちです。一方、グノの授業では「どうやってその考え方にたどり着くか？」に時間をかけてくださいました。プリントもただ解法が書かれているのではなく、「どうや

たらその発想になるか？」をいろんな角度から書いてくださって、「どうして自分がそれを思いつけなかったのか？」を知ることができるので、次に活かしやすかったです。数学をロジカルに考えられるようになるツールがセルフチェックシート\*です。書いているうちに、「あれ？この前も同じことを書いたぞ」ということが度々あって、ミスをしやすいうポイントを明らかにできます。そして、自分がどういう考え方をしているのか、傾向を意識化でき同じようなミスを繰り返さなくなりました。セルフチェックシートは本当に役立ちました。グノは、英語の良さがクローズアップされがちですが、数学もとても良かったです。

**小澤**：自分が解けなかった問題の解説で、「言っていることは分かるけれども、なんでこれを思いつくのか？なんでこの解法になるのか？」が分からないことが多々あります。グノの数学ではそういうことがなくて、ちゃんと一つひとつそのやり方に根拠を持たせてくれます。解法の1個上に「こういう時にこういうことをやるんだよ」みたいなのがいくつかあって、それらをちゃんと提示してくださる授業でした。1個ずつ腑に落ちながら勉強できるのが他との違いで、グノのすごいところです。

## グノーブルの古文

**小澤**：古文を1年間お世話になりま

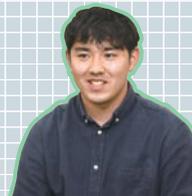
した。学校の授業だけだと手薄だったので「怖いな」と思って受講しましたが、古文の先生のパッションと面白さに圧倒されました。いろんな知識や背景の説明が面白く入りやすい授業でした。古文単語も、ただ単語帳で暗記するのではなく、英語と同じく語源から説明していただけて、1週間の量も少ないので、本当に驚くくらいスツと入っていきました。古文単語を覚えることに苦を感じませんでした。毎週、授業の最後に全訳を書いて先生に出して、次の週までに添削してもらえます。自分の勉強や学校の授業で全訳を書くことはそんなにやらなかったのですが、どんどん古文に慣れていきました。

## グノーブルの先生

**田畑**：皆さん名前を覚えるのが異常に速いです。初回の授業で僕らが演習している時、先生が席と名前を書いた紙を照らし合わせて一生懸命覚えていらっしゃるのが気がつき、「そこまでして僕らの名前を覚えているんだな」と印象に残っています。こうした先生方の姿が勉強のモチベーションにもつながりました。

**飯島**：ほぼ全員延長してくださって、それでも喋り足りないくらいの勢いで全員授業をしてくださったので、本当に教えられることは全部教えていただいた感じです。

# 東京大学 理系 Part.2



おかもと りょうすけ  
岡本 陽資さん\*  
(東京医科歯科大医・駒場東邦)



さとう だいぢ  
佐藤 大地さん  
(理I・駒場東邦)



たなべ しほ  
田邊 志保さん  
(理II・浦和明の星女子)

\*岡本さんはインタビュー日程の都合により、こちらの回に出席していただきました。

## グノーブルの勉強法で良かった点

**岡本**：高3の英語の授業は英作文と読解があって、それぞれの授業で先生からフィードバックをもらえるのが自信にもやる気にもつながりました。英作文を授業の最初に書いて、その日のうちに添削されたものを返してもらえます。宿題で書いてきた英作文も、次の週には返却されます。自分に足りない部分がリアルタイムで分かるのは助かりました。読解でもサミングアップ\*1が毎回授業の最初にあって、その日のうちに返ってきます。点数を見て「一喜一憂するな」と言われても一喜一憂するし、それが授業に対するモチベーションになりました。読解では長文が2~3個あって先生が丁寧に解説してくださいます。そこに出てくる新単語などは、授業で解説される語源と一緒に、四隅の余白を埋め尽くす勢いでメモを取っていました。ふと「あの単語はどういう意味だったっけ？」となった時、そのプリントを探し出して、単語が出てきた周辺の文章も改めて読み返すようにしていました。そうすると単語の意味だけで終わらず、文章の内容や大事なところもまとめて復習できました。

## グノーブルの物理・化学

**田邊**：物理は高2の夏期からです。学校では物理の授業があまりなくて、

ちょっと不安だったので取りました。グノの物理では、ただ暗記して公式を詰め込んで問題をどんどん解く感じではなく、公式にたどりつくまでの過程を一つひとつ追っていきます。先生が質問して、当てられた生徒がその場で考えてどんどん答えていく授業です。そのやりとりが記憶にとどまるから、難しい問題を解いた時に「やったことがあるな」と思い出せました。おかげで、物理はあまりガツガツやらなくてすみました。化学は高2の春期からです。化学は覚えることもたくさんあったけれど、覚えた知識をちゃんと自分の物にして応用できることが東大では大事です。先生が授業中に実験をして、「どうしてこうなっていますか？」「どうしてこうなるんですか？」と質問して、生徒を当てていきます。覚えた基礎知識の確認をすると同時に、その場で考える力を養えました。

## グノーブルの先生

**岡本**：僕が特に「すごい先生だ」と思ったのは二人です。一人目は高3の読解の先生です。初回の授業から生徒の顔と名前が全員一致しているのを見て、僕は「うわあ、化け物だ！」と思いました。その他にも、ひとつの文章から背景知識などを教えてくださるので、本当に楽しく授業を受けられました。単語の語源ももちろん、それ以外の知識も本当に豊富で、とても印象に残っています。

二人目は高3の作文・文法の先生です。すごくエネルギーが豊富な方で、一人ひとりの生徒のことを細かいところまで本当にしっかり把握されていました。授業中のやりとりの中から、「この人はすごく生徒のことを見ているな」とびっくりしました。

**田邊**：先生方は生徒一人ひとりの傾向などを分かっていらっしゃるから、先生からアドバイスをもらうと、自分では気づかなかったことに「実はそうだったのかな」と気づいて驚くことが多かったです。先生方に対して「厳しい」と感じたことはなく、とにかく優しくかったです。

**佐藤**：先生方が初回授業で名前を覚えてくださるのは、うれしくもあり、ちょっと怖いのもありました(笑)。英語でも数学でも先生方の中で生徒の情報が共有されているようですし、生徒を覚えられないくらいの人数を入塾させていないのだと思います。数学の先生は、僕がセルフチェックシート\*2でたまに質問を書いたら、わざわざ速達で返信を送ってくださったこともありました。間違った問題のセルフチェックシートには、僕が半年前に間違った問題を書いてくださって、「この時にこう間違っていたのと同じ感じがしました」とコメントをくださいました。それが復習の種になって、少しずつ数学の力になりました。英語でもメールでの添削があって、先生方は全員、細かく丁寧にサポートしてくださいます。

\* セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。

\*1 SUMMING-UP LABORATORY：高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答案は担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的レベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

\*2 セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。

# 東京大学 理系 Part.3



おばな へいき  
小花 栄貴さん  
(理I・開成)



みずの りょうすけ  
水野 僚介さん  
(理I・麻布)

## グノーブルの良いところ

**小花**：僕が一番助かったのは、自分が申請している曜日でなくても、空いていたら自由に振替できる場所でした。僕は部活と学校行事に力を入れていたので、どうしても行けない時は他の曜日に振り替えました。映像授業だと、理解できないわけではないけれど、やはり学びづらいです。だから映像ではなく対面で振替できるのがありがたかったです。学校行事で忙しかった時期は映像を活用したこともあるけれど、やはり対面のほうが効果は上がりました。

**水野**：僕も学校行事に力を入れていたので、振替が利くのに助けられました。対面授業については僕も小花君に完全同意です。映像と違って、対面だと先生の存在があるからこその緊張感があります。僕は授業で前のほうの席に座って、先生との距離を近くしていました。自分から作り出す集中力と場が作り出す集中力があって、映像授業だと「自分で集中しよう」と思ってもどうしても阻害されます。そういう面で、場が作り出す集中力が生じる対面のほうがいいと思いました。

「宿題の量がとてつもなく多い」と評判の塾があります。それをやっていたら伸びるのかもしれないけれど、僕は受験勉強を始めた時期が遅かったので、効率を上げないと間に合いませんでした。グノの宿題は多くあ

りません。授業に集中して理解したことを復習で自分のものにしていくのがグノの授業ですから、自分のペースで要領良くやっていきました。宿題で自分の予定を潰されないようにうまく勉強できたのが大きかったです。

## グノーブルの英語

**小花**：グノーブルの英語は時事ネタもたくさん扱ってくださいますし、幅広い題材が教材になります。僕が一番印象に残っているのは『星の王子さま』の献辞部分でした。文構造や単語レベルはそんなに難しいものでないのに、そこにはいろいろな思いが込められていることを実感させられる文章でした。授業で扱われて、先生の解説を受けた時に「言語って面白い！」と少し感動しました。英語を翻訳機にかけて日本語にただでは読み取れないものがあって、それを先生が教えてくださるのはとてもありがたかったです。それが知能的な英語で、英語を英語のまま読まないで得られない感動でした。グノーブルは英語力を底上げしてくれる塾です。グノーブルは、大学受験をゴールとした英語ではなく、英語力をポトムアップすることによっていろいろな英語に対応できるようにしてくれます。英語そのものを理解していれば東大の英語でも困りません。僕は英語の過去問演習をやらずに合格できました。グノーブルで

本当の英語力を底上げできたので、受験英語の得点力もついたのでと思います。

## 後輩へのアドバイス

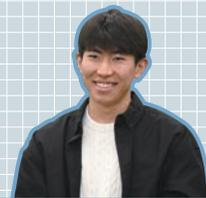
**小花**：僕たちが目指しているのはもちろん志望校合格ですが、できるだけそこを目標にしてほしくありません。学習は学ぶのがメインで、合格するのはその結果だと思います。英語、さらには数学や国語や理科も楽しんで好きになるように心がけてください。好きになれば絶対に結果がついてくるので、そこを一番に大切にしてください。これが、僕がグノーブルで教わったことです。

**水野**：僕が受験で成功できた要因は、受験に対して主体的に動いていたからだと思います。グノーブルに入ったのも、親に入れられたわけではなく、「自分にはこの塾が必要だな」と思ったからです。グノーブルで勉強している後輩には、「どうして自分がグノーブルにいて、どうしてこの勉強をやっているのか？」を考えながら勉強に取り組んでもらいたいです。そうすれば勉強に取り組む上での楽しさも変わってくるはずです。主体的になることで、自分から先生に聞きに行くこともできるし、自分が真剣にやればやるほど先生もそれに応えてくださいます。受験に対して自ら動いて積極的になることが重要です。

# 国・私立大学 医学部 Part.1



いとう ゆめか  
伊藤 ゆめかさん  
(大阪大・豊島岡女子学園)



おかの けん  
岡野 健人さん  
(千葉大・駒場東邦)



たかせ あゆか  
高瀬 あゆかさん  
(慶應義塾大・桜蔭)



たけうち ひなた  
竹内 陽さん  
(千葉大・芝)



わたなべ ゆういちろう  
渡辺 祐一郎さん  
(千葉大・巣鴨)

## グノーブルの英語の有効性

**伊藤**：グノの英語は受験だけを意識していません。受験を超えて大学でも使える英語です。私は大学以降も夏休みを使って短期留学に行きたいので、グノで身につけた英語の力を使いたいと思います。音読を続けていたら英語を口に出すことに抵抗がなくなりました。音読は自分で内容を考えて喋っているわけではないけれど、スピーキングにも生きてくるはずですよ。

**岡野**：英会話という点ではまた別のトレーニングが必要だと思いますが、海外の大学生が読むテキストも教材として用意して下さったので、高度な英文を読める力はつきました。グノでの勉強は大学への橋渡し、さらにその先につながるものになっていると思います。

**竹内**：グノの授業を復習までしっかりやれば4技能すべて網羅できます。音読はスピーキングの練習になるので、実践英語への土台はだいぶ仕上がったという感覚があります。医学部では論文を読んだり書いたりしますが、グノでライティングもしっかりやってきて、長い文章を書くことに抵抗を覚えなくなったので、今後の土台はしっかりできました。

**渡辺**：僕も土台はできたと思います。特にリーディングでは、音読のおかげで速読力がつきました。学校で周りの人から「読むのが速すぎる」と言われたくらいです。読むスピード

がついたので、今後大学で読む英文も速く読めるでしょうし、その先にも活かせると思います。ライティングの授業で英文を書いたことで、それも将来につなげていけると思います。

**高瀬**：高3の秋に、「志望校の過去問を始めたほうが良いでしょうか」と先生に相談したことがありました。先生からは「グノの教材を復習していればどんなタイプの英文や出題でも対応できるようになります」とおっしゃっていただきましたが、それは本当にそのとおりでした。いろいろ併願したら、英語の問題はそれぞれタイプが違っていました。でも、「こういう問題しかやっていないからできない」とはなりません。グノの英文をやっていたら、大学受験の英文だけでなく小説や哲学にも触れられるので、どんな文章でも抵抗なく読めるようになります。大学に入ってから医学系の文章を読む時もグノでの経験が役立つと思います。受験が終わったので洋書を読んでいます。グノでいろんな文章を読んだおかげでスラッと読めます。

## グノーブルの数学

**伊藤**：高校1年の夏まで数学は他塾に通っていたけれど、そこは生徒と先生の距離が遠くて、私には合いませんでした。グノの英語は少人数で、生徒と先生の距離が近いので、無意識のうちに比較して差を感じて

いたのかもしれませんが。他塾をやめたあと、グノで数学もお世話になることにしました。

グノの先生は本当に分かりやすいし、授業は数学愛にあふれていて、すごく良かったです。私はもともと数学がとて嫌いでしたが、先生のおかげで好きになりました。手書きの解説プリントも分かりやすくして熱が伝わってくるので、受験直前期も毎日見っていました。成績もめっちゃ上がりました。

セルフチェックシート\*は最初「めんどくさい」と思っていたけれど、続けていくと効果が表れてきます。問題を解いてすぐ書くと、「自分がどこでミスっていたのか?」「自分がどこまで行けて、どこから行けていないのか?」などが明確になります。数学は解答用紙がないと数式だけバツと書き連ねがちですが、そこを言語化することで、穴埋めではない記述解答の国公立にも対応できます。セルフチェックシートで言語化する力がついたと思います。

\* セルフチェックシート：高2文系数学、高3数学で生徒自身が宿題終了後に記入するシート。解けた問題には「どう解いたか」、解けなかった問題には「何ができなかったか」などを記入。自分の傾向や理解度を分析して客観視し、次のステップへとつなげるグノーブル独自のツール。



おくの としかが  
奥野 利亮さん  
(東京医科歯科大・渋谷教育学園渋谷)



なかやま わたる  
中山 渡さん  
(筑波大・麻布)

## グノーブルの評判

**奥野:** グノーブルは学校でも評判が高かったです。高2になるとみんなが受験を意識し出します。いろんな塾に行っている人がいるので、いろんな人がいろんな人に塾のことを聞きます。僕は他塾の人から「グノーブルって、どんなことをやっているの? どんな感じなの?」と聞かれて、「面白い話題の英文をいっぱいやるよ」と答えていました。高3の授業で毎回やるサミングアップ\*はやりがいもあって、英語力を上げる効果もあったので特に真剣に取り組んでいました。グノーブル生同士でもサミングアップのことをよく話題にしていたんです。

家でもグノーブルで扱った英文のことを親に話していました。母も「今日はどんな文章だったの?」と興味を持っていました。

**中山:** 僕も学校ではグノーブルに通っている人同士でサミングアップの話をよくしていました。他に、数学のクラス分けテストのことも話題にしていました。

## 授業内演習と添削

**奥野:** 授業内で演習できるのは良かったです。その中で同じクラスの同級生に負けたくないという気持ちもありました。添削も「ここまでしっかり見てくださったのか?」と思うほどで、点数が悪かったら若干落ち込み

ますけれど、それでもその分授業にしっかり身が入って良かったです。グノーブルの授業は長めですが、宿題にかかる時間がほとんどいらぬことを考えると、その時間は他科目に使えるし、グノーブルの授業は常に集中できるので効率の良い勉強ができたと思います。

**中山:** 奥野君と同じで、授業内の演習、解説、理解と授業外の復習というスタイルは勉強しやすくて助かりました。他の勉強もあるので、演習も授業中に組み込まれているのは良かったです。添削では、同じ学校で同じクラスの人と点数を競いました。点数が伸びない時期もあったけれどモチベーションになりました。やはり先生にちゃんと見えてもらえて点数もつけてもらえると気持ちも違います。

## グノーブルの物理・化学

**中山:** 物理は公式が多く、塾によっては覚えるだけの授業なのかもしれません。テキストや参考書を見ても公式だけがバーンと載っていて、肝心なところが書かれていません。一方、グノーブルの物理は身近な現象からスタートして、「その現象が起こるためにはこの公式がないとダメだよ」といった、プロセスが分かって、頭にスッと入ってくる解説でした。公式から入るのではなく現象から入るのが他との違いです。公式は現象を理解するためにあることが理解で

きて、公式に対するモヤモヤした印象が解消できました。

それから、公式はひとつだけでなくいろいろあります。ひとつの問題を解く時に2パターンでやってみるのもグノーブルの物理の特徴です。正攻法とちょっと時間がかかる別の方法を学びました。時間内で解くとすると正攻法のほうが良いけれど、もうひとつのやり方を教わることで、本当の理解ができて、さらに難しい問題に対応できる応用力が身につきました。

化学は高2から取っていました。高2では実験が多くて、実験後に「どうしてその現象が起きたのか?」を考えます。先生が黒板に書いて一方的に授業するというよりも、先生が質問して生徒が考える双方向的な授業です。生徒が分からなかったら、先生がヒントを出して下さるので、自分の頭を使って答えを導き出していく感覚でした。もちろん生徒は答えを知らないけれど、必要な知識は与えられていて、その知識の中からどれかを選ぶとその現象を説明できます。一方的な解説ではなく、考えないといけないのが面白かったです。



あかみち ゆうな  
赤嶺 佑奈さん  
(東京女子医科大学・浦和明の星女子)



ひとつまつ だいき  
一松 大輝さん  
(京都大農・麻布)

## グノーブル入塾のきっかけ

**赤嶺:** 私は「中学受験をする」と決めた時に母から勧められたことが一番大きいです。算数の先生に体験授業をしていただいて、集団授業の塾なのに個人を見てくださるスタイルに惹かれて入塾を決めました。先生が一人ひとりの宿題をちゃんと見てくださるので、それをモチベーションにできました。

大学受験グノーブルは、数学と英語の両方でスタートダッシュ講座\*1を受けました。中学受験の時から算数が苦手だったので、数学は中1から入りました。英語は中学2年生の冬からです。中学受験グノーブルがすごく楽しかったので大学受験でもお世話になろうと思っていました。

**一松:** 僕も「中学受験をする」と決めてから、自分の習い事と曜日が合う日程の塾を探しました。少人数制の塾を探した結果、グノーブルに決めました。

直すべき点をちゃんと指摘して下さる先生が多く、問題が解けなくて若干自暴自棄になった時に注意していただいたおかげで、諦めずに勉強と向き合える精神を育めました。先生方は日頃の頑張りを認めた上で励まして下さいますので、説得力がありました。

高1の冬休み前くらいに大学受験を意識し、英語に強い塾を探しました。自分の周りでグノーブルの英語の評判が良く、中学受験の良い印象もあっ

たので冬期講習を受けて通い始めました。

## 大学受験グノーブルの印象

**一松:** 最初は、扱う英文が長く難しいという印象で、「こんなのできるようになるのだろうか?」という不安はありました。でも、先生の解説が分かりやすく、単語も丸暗記するのではなく語源から理解していけば頭に入りやすいのだと教えてもらいました。そもそもグノーブルは単語帳を推奨しません。僕は単語帳が好きではなかったけれど、中3までは単語帳を買ってやってみたんですが、最後まで完遂できませんでした。一方、語彙を分解して成り立ちから捉えるというグノーブルの覚え方は自分なりにしっくりきて、自分の語彙力向上につながりました。それが他塾との大きな違いです。

高3からは、最初にやるサミングアップ\*2のおかげで英語全体の力が一気に上がりました。サミングアップは要約の実力だけでなく、英文読解のいろんなところの実力向上にもつながります。リスニングも毎回やるのでリスニング力も鍛えられました。

**赤嶺:** 先生方が一人ひとりを見てくださったり、ちゃんとコミュニケーションを取ってくださったりするのは中学受験グノーブルと変わりました。集団塾であそこまで一人ひとりに添削して下さる塾は他に知らないの、そこはグノーブ

ルの特長なのだと思います。それから、グノーブルはちゃんとした量の宿題は出るけれど、そんなに無理な量ではなく、量より質を重視している塾だと感じました。

## グノーブルの先生

**一松:** 中学受験グノーブルと大学受験グノーブルの共通点としては、先生のアドリブ的な発信が多い点が挙げられます。先生はある程度話す内容を授業前に決めていていると思うんですが、その中でも生徒の反応に合わせた話の選び方が生徒の心をつかみます。

他には、質問や学問的欲求に対してとことん答えてくださるのも共通点です。生徒の名前を覚えてくださるのもうれしいです。グノーブルの先生方は生徒を当てて答えさせて下さるので、その過程で生徒と先生の対話が必然的に増えます。そういうところも良かったです。

**赤嶺:** 先生方との距離感はとても近くて、いつでも質問できる空気感があります。先生方は個人の志望校や成績に干渉してくるわけではありませぬ。本当に個人個人の意思やスタイルを尊重して下さり、時には的確なアドバイスをして下さって、そういう距離感や空気感はとても居心地が良くて、学んでいて楽しかったです。中学受験グノーブルも大学受験グノーブルも先生方には共通した素晴らしさを感じられました。

\* SUMMING-UP LABORATORY: 高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。

\*1 スタートダッシュ講座: 新中1対象の講座(2~3月に開講)。  
\*2 SUMMING-UP LABORATORY: 高3の英語(読解)で毎回実施される英文の要約演習。一人ひとりの答えは担当講師が添削・採点して返却。音声教材も完備。知的にレベルの高い「読解力」の土台を築けるばかりではなく、「聴解力」「作文力」「話す力」や「プレゼン力」も鍛えるグノーブル独自の仕組みです。



# Gnoble

## GROUP

## 知の力を活かせる人に

私たちは、生徒の皆さん一人ひとりと誠実に向き合います。

皆さんが、将来にわたって活躍できる土台となる、

有機的知識・思考力・判断力・コミュニケーション能力・心の強さを

身につけていくことを常に念頭に置いた指導をお約束します。

何より、皆さんの意欲や好奇心といった心の中の火を

無味乾燥な受験勉強で消してしまわない

活き活きとした環境を提供していきます。

大学受験



**Gnoble**

大学受験 **グループ**

難関大学・医学部を目指す中1生～大学受験生

本物の知的体力がますます求められています。その知の力を伸ばすのに最も大切な要件は、前向きになれる、知的刺激にあふれた環境で学ぶことです。授業形式、教材、そして、教職員の接し方に至るまで、皆さんが意欲的になれる環境を整備し、難関大学・学部を目指す皆さんをしっかりサポートしていきます。

中学受験



**グループ**

中学受験 **Gnoble**

難関中学を目指す小学生

最新の入試傾向に対応したカリキュラム、精選されたオリジナルテキストを基に、経験豊かな講師陣が一人ひとりに向き合った双方向の授業を展開し、難関中を目指す子どもたちを導いていきます。学習したい教科や志望校別のクラスが選択できるなど、中学受験に関するさまざまなご要望にお応えしていきます。

個別指導



**グノリンク**

個別指導 **GnoLink**

難関校を目指す小学生～大学受験生

生徒一人ひとりに心を配り、その子の持つ可能性を追求します。学習状況に合わせて、講師1名に生徒2名、あるいは生徒1名の完全個人指導体制を提供します。中学受験・大学受験グループと並行して通うことも可能です。グループオリジナルテキスト等も併用しながら、個別に対応します。

英会話



**GnoKids**

英会話 **グノキッズ**

0歳児～小学生

さまざまな楽しい英語体験を通して、聞く、話す、読む、書くの4つの力を伸ばします。先生2名に生徒は8名程のクラスで、ネイティブの英語に触れ、親しむことができます。ご家庭での学習も配慮した教材で、継続的な学習を無理なく行うことができます。

### Gnoble グループ 各校舎所在地



**Gnoble**

GROUP

大学受験 **グループ**  
個別指導 **グノリンク**

中学受験 **グループ**  
英会話 **グノキッズ**

グループ総合案内

[www.gnoble.com](http://www.gnoble.com)